



# 希 望 橋

教育目標 豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

## 第78回 卒業証書授与式

3月 3日(月)

3月3日(月)、38名の卒業生が立派に巣立ちました。厳粛な中にも、心温まる感動的な素晴らしい卒業式でした。特に、卒業生代表による「答辞」は、中学校生活三年間を振り返り、ともに過ごした仲間との絆、これまで支えてくれた保護者の皆様をはじめ、周りで応援して下さった方々への感謝の気持ちにあふれていました。

### 答 辞

一蓮托生～よりよい明日へ突き進もう～この生徒会スローガンのもと、はじまった令和六年度も終わりに近づいた三月の佳き日、私たち三十八名は三年間の思い出を胸に旅立ちの日を迎えました。



ご来賓の皆様、先生方、在校生の皆さん、本日は私たちのために、このように盛大な卒業式を挙げてくださり、本当にありがとうございます。卒業生を代表して、感謝申し上げます。

まだ少し大きな制服に袖を通し、隣の小学校校舎から中学校校舎に移った入学式の日、新しい生活に戸惑いを隠せなかった日々を思い出します。そして、いつしか時は流れ、私たちもついに一人一人が一步を踏み出す時がやってきました。共に過ごした仲間を前にすると、多くの思い出がよみがえってきます。

「飛翔」、「気炎万丈」。全校が二つの連合に分かれ競い合った体育祭。夏休みから取り組んだパネルは、体育祭当日の澄み切った青空によく映え、私たちを鼓舞していました。どうしたら全校で楽しめるのか、悩みながら練習し、迎えた本番。どちらの連合も最高のパフォーマンスができました。気持ちが一つになったときの底知れぬ力を感じました。解団式で自然と流れた涙は、一つのこと本気で向き合った証でもありました。

巻文化会館のホールに歌声が響き渡った合唱発表会。命の尊さと、友達への想いを歌った「群青」、「あなたへ」。合唱発表会では、最後の合唱ということもあり、練習そのものを楽しむ姿がありました。歌詞の一言一言に思いを乗せ、全員で心を一つに取り組みました。私たちの合唱がようやく完成し、みんなで拍手したことをよく覚えています。本番当日、一年前よりも、確かな自信に満ちた私たちがステージにありました。また一つ大きな絆で仲間とつながったと感じたのは、私だけではなかったはずです。

全員が笑顔で楽しむことを一番に考えた明風祭。協力して行った出店やライブパフォーマンス、レクリエーション、準備から最後まで笑顔であふれました。明風祭スローガン「special shining stars」を誰もが体現できた時間となりました。

三年間、仲間と切磋琢磨しあった部活動。ここぞというときの仲間の存在は、どんなに頼もしかったことでしょうか。部活動で培った深い友情は、唯一無二のものになりました。ここで得た、体力、精神力、そして感謝の気持ちは、これからも私たちを後押ししてくれると思います。

京都、奈良、大阪。新潟との文化の違いを肌で感じた修学旅行。数々の世界遺産の圧倒的な存在感に息をのみました。京都での自主研修や、夜遅くまで小声で仲間と話したこと、USJで時間いっぱい過ごし、笑い合ったこともかけがえのない大切な思い出となりました。

毎日の「おはよう」からはじまる一日。他愛もない話で盛り上がった昼休み。我先にと体育館へ、グラウンドへと駆ける人の姿もよく見られました。そんな何気ない一つ一つの出来事が大切な時間だったと気付かされます。

在校生の皆さん、私たちは今日でこの潟東中学校を卒業します。これからは皆さんが伝統を引き継ぎ、次の世代へ引き継いでいく番です。仲間を大切に、全力で学校生活を楽しんでください。

先生方、いつも私たちのことを考え、時には厳しく、温かく導いてくださりありがとうございました。先生方の優しいまなざしとたくさん思いはいつまでも忘れません。これからも先生方の教えを胸に、未来へと力強く歩んでいきたいと思ひます。

ご列席くださったご来賓の皆様、地域の皆様、幼い頃から温かく見守ってくださり、ありがとうございました。私たちは地域に貢献できる力として頑張ります。これからもご指導、よろしくお祈ひします。

そして、生まれた時から僕たちのすぐそばで支えてくれたお父さん、お母さん。義務教育を修了した今、少しは成長しましたか。迷惑も心配もたくさんかけてしまいました。でも、どんなときも私たちのことを一番に考え、支えてくれていることを、私たちは感じています。普段は照れくさくて言えないけれど、本当に感謝しています。「ありがとう」。まだまだ未熟な私たちですが、あなた方のように広い心ですべてを受け止められる人にもっと成長していきます。これからもよろしくお祈ひします。

三月の今日も外は雪景色です。でも、頬をなでる風に、確実に春の訪れを感じさせます。三年間、学んだ校舎は私たちを見守り、そっと背中を押してくれているかのようです。今、私たちは新しい一歩を踏み出します。これから先、目の前に立ちちはだかる大きな壁も自分の力で乗り越え、自分の力を信じ、未来を切り拓いていかなければなりません。潟東中学校で仲間と共に歩んだ思い出と誇りを大切に、力強く歩んでいきます。

最後になりましたが、皆様のご多幸と、潟東中学校の更なる発展を心より祈念し、答辞とさせていただきます。

令和七年三月三日

卒業生代表

